

2019 年 1 月 11 日

「高次脳機能障害患者におけるセラピーロボット「パロ」の症状緩和効果の検討」

1. 研究の対象

高次脳機能障害を有するの患者さんで、2017 年 11 月 7 日から 2020 年 3 月 31 日の間に当センターリハビリテーション科病棟に入院された方

2. 研究目的・方法

「目的」セラピーロボット「パロ」の症状緩和効果を検討するため

「方法」対象患者さんの症状の変化、神経心理検査結果の変化、看護やリハビリテーションの受け入れ姿勢の変化などの調査を行う

「研究期間」2019 年 2 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、原疾患、心理心理学的検査、高次脳機能障害の表出的症状および看護の受け入れやリハビリテーション順応性の変化

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センターリハビリテーション科

研究責任者：リハビリテーション科主任部長 辻野 精一

電話 06-6692-1201 内線 8137